

— 開催要領 —

10月25日 (水)	
12:00～13:00	昼食 @佐賀市内店舗 (B級グルメ)
13:30～14:10	経済界事前打合せ @ホテルマリターレ創世
14:30～15:30	本会議 @同上 審議：・九州MaaSプロジェクト ・次期プラン (JEWELS見直し) の策定 報告： デジタル関連新規施策
16:00～17:00	産業行政視察 SAGA アリーナ
18:30～20:30	意見交換会 (懇親会) @古湯温泉ONCRI
20:30～22:00	はしご酒 @古湯温泉街
10月26日 (木)	
8:40～9:00	催し @古湯温泉ONCRI
9:00～11:40	本会議 @同上 審議： <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・新しいシリコンアイランド九州の創造に向けた取組 ・九州における食料安全保障の確立 </div> ・安全・安心な暮らしを基盤とした九州創生 (脱炭素社会の実現に向けた取組) ・決算、予算 報告： ツールド、I R、観光アクションプラン等
12:00～13:30	昼食 @KUREHA (佐賀市大和町)

— ご出席予定者 —

【九州地方知事会】 (9名)

9県知事

【経済界】 (9名)

九州経済連合会 (5名)

倉富会長、甲斐副会長、永田副会長、池内理事、右田理事

九州商工会議所連合会 (2名)

谷川会長、陣内副会長

九州経済同友会 (2名)

青柳代表委員、瓜生代表委員

九州経営者協会 ※九経連会長兼務

(補足) 出席委員について

戦略会議の規約に基づき、知事9名と同数以下にて、審議事項等内容に合わせて選定

九州の取組方針

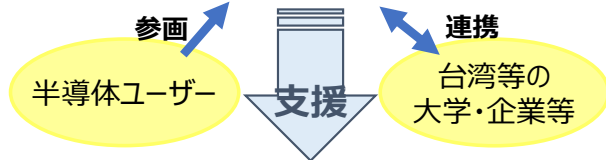
- 国や九州7県・政令市、産業界、教育界等で「九州半導体人材育成等コンソーシアム」を組成
 - ➡ 半導体人材の育成・確保や、サプライチェーンの強靱化を図る
- 本会を含む経済界と九州・山口9県は、2003年から九州地域戦略会議を実施
 - ➡ 今後、半導体産業の戦略展開・課題解決・規模拡大を推進していく
 - ➡ 2022年の補正予算をきっかけに、オール九州での戦略展開を強化し、民間投資の動きをさらに加速

九州半導体人材育成等コンソーシアム（昨年3月組成）

- ◆産：半導体企業、JASM※1、九経連等
- ◆学：九工大、九大、熊大、高専機構等
- ◆官：経産省、文科省、各県、産総研等

〔事務局〕九州経産局、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会

※1: Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
(TSMC、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)、(株)デンソーの合併会社)



県組成の協議体 ※（ ）内は組成時期

福岡県 (令和4年2月)	佐賀県 (令和4年10月)	長崎県 (令和4年2月)	熊本県 (令和4年3月)	大分県 (平成17年4月)
-----------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------

九州地域戦略会議 ※（2003年10月設立）

▶ 昨年8月 第19回夏季セミナーの結論

『九州全体での戦略的なシリコンアイランド創造へ、
具体化推進（クラスター形成、教育・人材育成）』



【国への提言】・・・国内投資拡大のための官民連携フォーラムにて

- ①九州における半導体の投資拡大の現状 および取組方針 22年12月
- ②インフラ整備 23年4月

【取組内容】

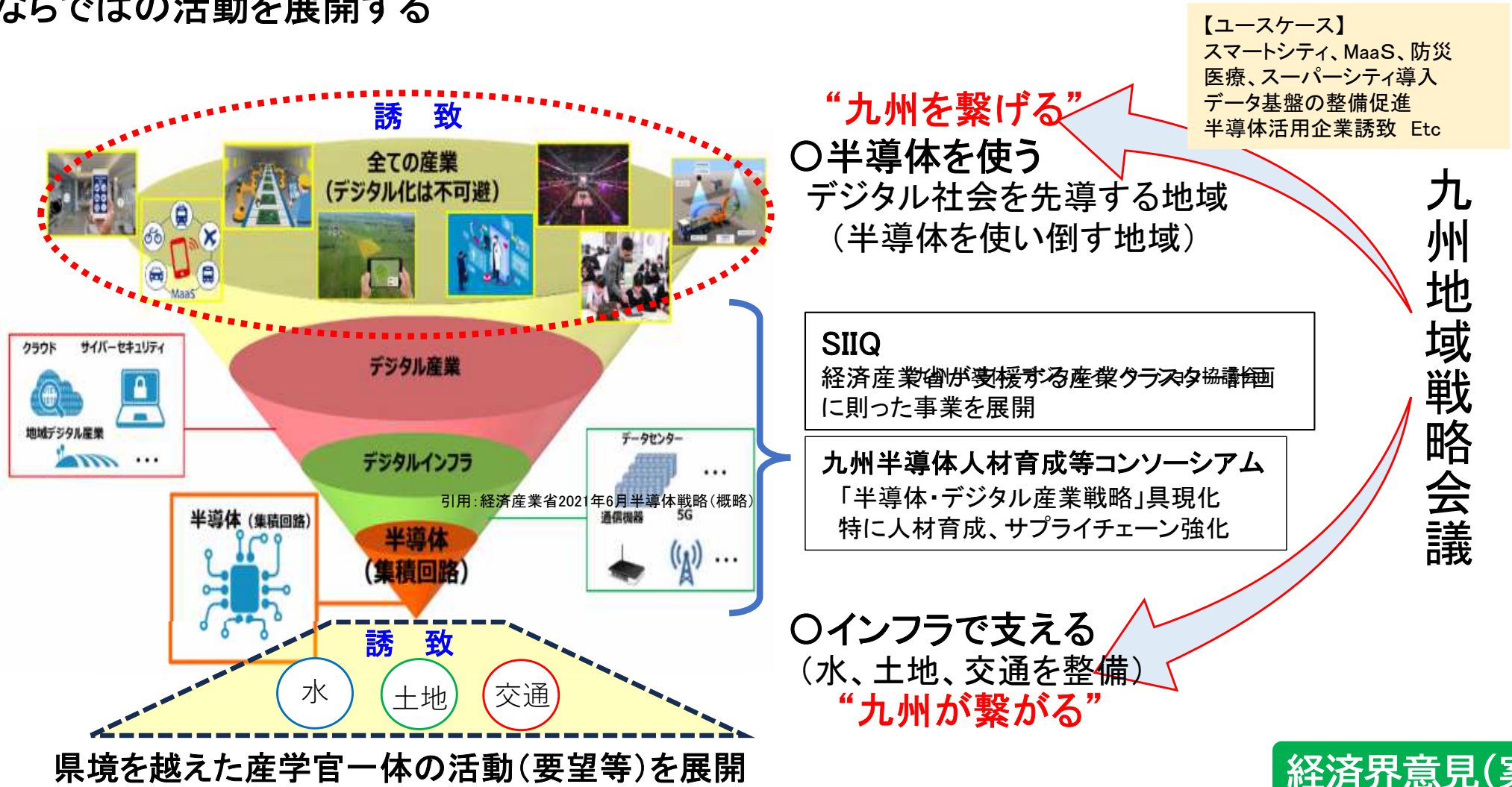
- ① 半導体人材の育成と確保
人材育成カリキュラムの作成、研修プログラムの構築と実践 等
- ② 半導体大手企業と地場企業、ユーザーとの取引強化
マッチングプラットフォーム構築、新たな投資案件の創出 等
- ③ 海外との産業交流の促進
海外（台湾・米国・欧州）の関連機関とのアライアンス形成 等



九州の産学官が力を結集し、
新生シリコンアイランド九州の
実現を着実に進めていく。

新生シリコンアイランド九州に向けて九州地域戦略会議が取り組むべきこと(案)

半導体産業を支援する2団体と協働しつつ、広域的な産学官一体となった九州地域戦略会議ならではの活動を展開する



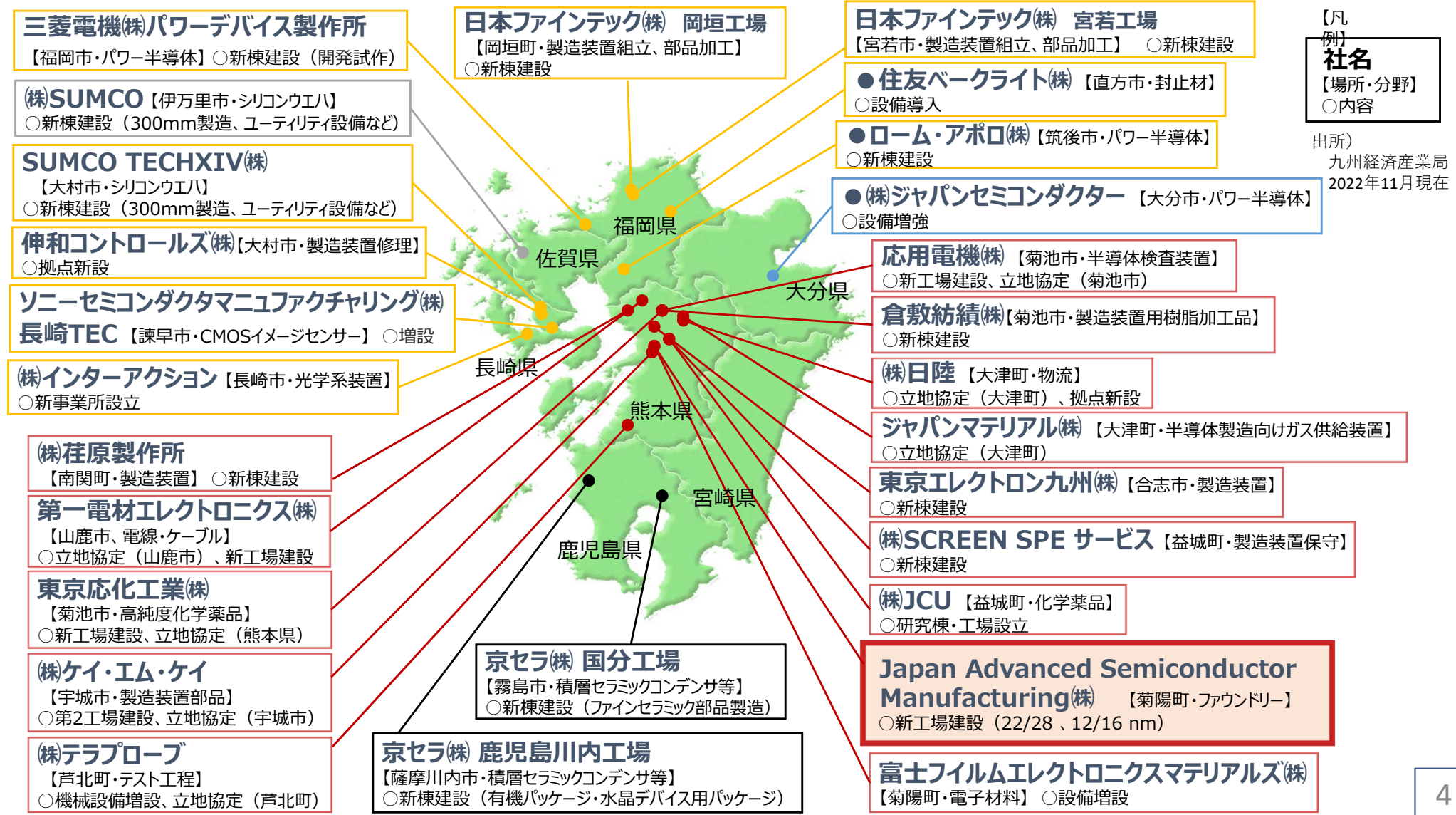
新生シリコンアイランド九州の実現に向け、環境・インフラ整備を一体となって進めるとともに、幅広い産業に先端から多世代に渡り半導体の活用を深め、デジタル社会を先導する地域を目指す。

半導体産業の育成・誘致を九州一体となって、“選ばれる九州”を目指す

参考) 九州における半導体の投資拡大の現状

- 関連の製造品出荷額 約 1.5 兆円、 I C 生産 全国シェア 4 割
- 約 1, 0 0 0 社が集積、半導体を核に広範囲なサプライチェーン
- 新たにTSMCなど、設備投資増強・新規拠点進出が活発化。

(公表ベース)
投資額 : 2兆 800億円超



2023.8.3
共同議長懇談

倉富会長 『農業は輸出で付加価値を生み出し、その余裕が緊急時の食糧安全保障になる』
蒲島知事 『上記に同意し、戦略会議では1点突破で輸出拡大をやるのがわかりやすい』

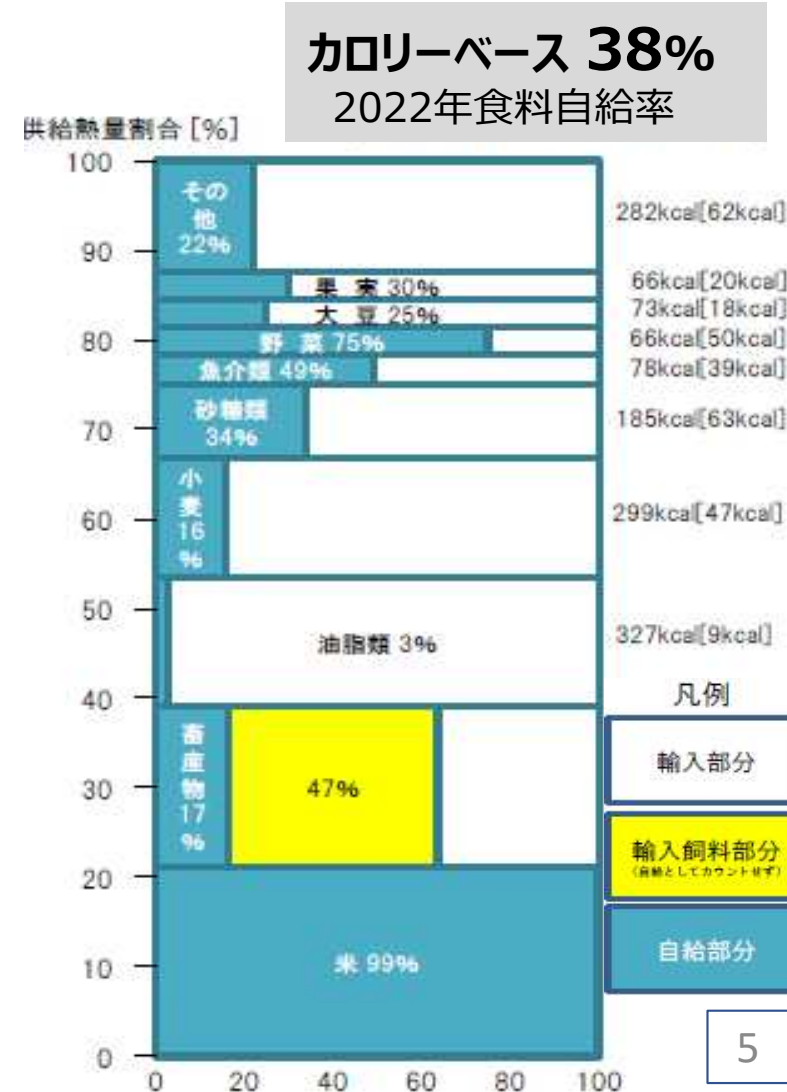
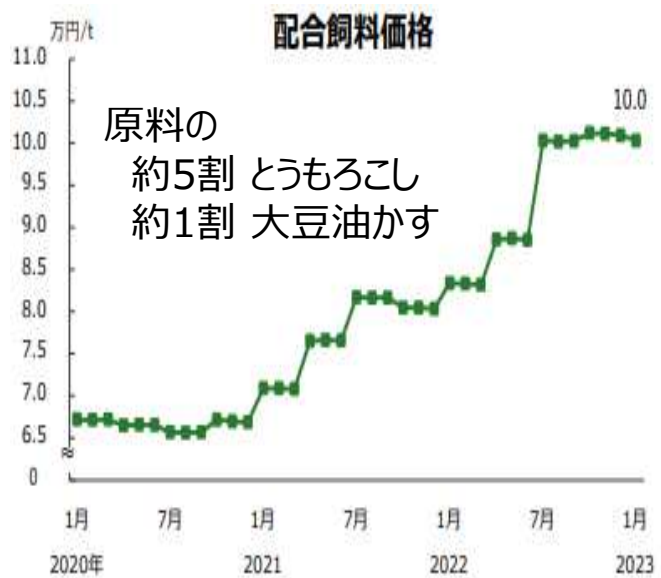
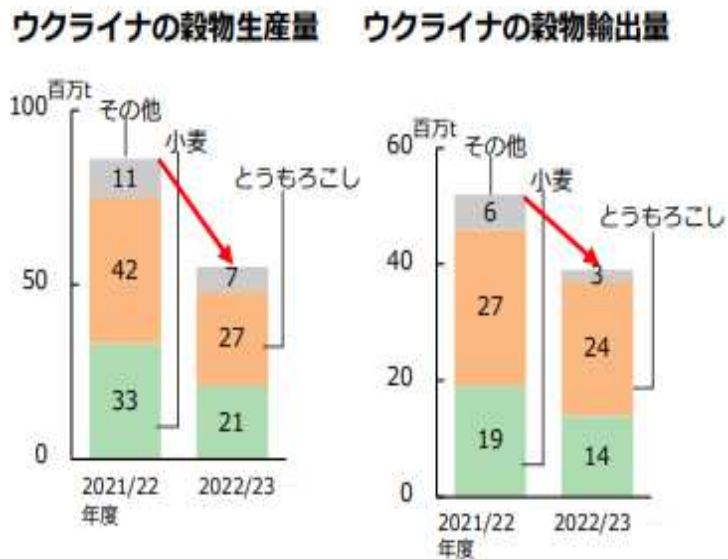
10/25-26 九州地域戦略会議での審議テーマ

◆九州における農産物輸出を含めた食料安全保障の確立

- 各県の取組状況や課題等を共有（30分）
- 意見交換（15分）… オール九州での効果的な取組の実行へ

ウクライナの穀物生産量
 ・小麦 前年度比▼36%
 ・とうもろこし " ▼36%

配合飼料価格が大きく上昇
 2023年1月 10万円/t
 （前年同月比20%上昇）



資料:米国農務省「PS&D」(2023.3)を基に農林水産省作成

資料:公益社団法人配合飼料供給安定機構「飼料月報」を基に農林水産省作成

◆-1. 食料安全保障の強化に向けた動き



岸田総理
 「**食料・飼料の国産化**による生産基盤の強化、
 また**輸出の強化**等による稼ぐ力をしっかり
 伸ばしていかなければならないことを改めて再認識した」
 （2022.10月 霧島市）



「**食料安全保障強化政策大綱**」決定（2022.12月）
 〈2030までの主なKPI〉



生産資材の国内代替	肥料（リン）の国内資源の利用割合40%（21年25%） 化学肥料の使用低減 -20%
輸入原材料の国産転換	2030までに21年比での生産面積拡大 小麦+9% 大豆+16% 飼料作物+32% 米粉用米+188% 等
適正な価格形成と 国民理解の醸成	事業系食品ロスを2000年比で半減（273万 t）

熊本県「食料の安定供給の確保」

農業経営のバトンタッチ



農業経営を安定的に継承し、多くの担い手を確保するため、今年6月に「くまもと農業経営継承支援センター」を設立しました。センターでは、後継者にお悩みの方、経営を引き継いで農業を始めたい方の取り組みを支援しています。

くまもとグリーン農業

土づくりを基本として化学肥料や農薬を減らした、環境にやさしい「くまもとグリーン農業」を推進しています。この取り組みを通して、肥沃（ひよく）な土を育み、豊かできれいな地下水と自然環境を守ります。



経済界意見(案)

競争力を持った「魅力ある農業」への転換
 ～食料自給率アップ、食料・飼料の国産比率増加へ～

- 収益向上（国要望：九州に合った品種等の技術支援強化）
- 効率的な生産（中山間地に適したスマート農業技術投入）
- 担い手づくり（地域全体で支える農的関係人口増大への仕掛け）

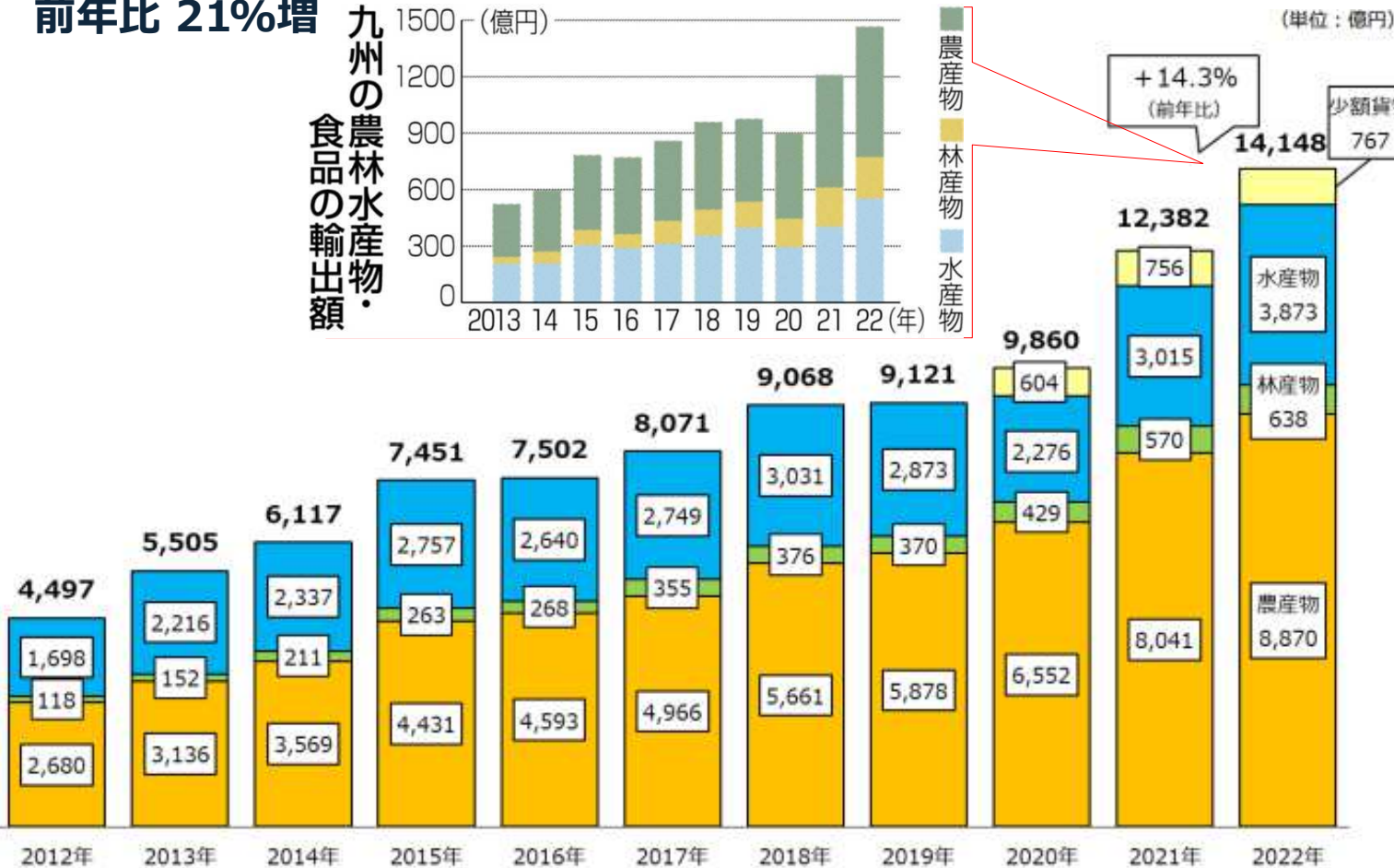
◆-2. 輸出の強化

経団連「農業の成長産業化に向けた提言」より（2023.5月）

輸出の強化は、農業の成長産業化や生産者の所得増加のみならず、**不測時に対応可能な国内食料供給基盤の確立**にもつながるものであり、食料安全保障の強化の観点からも取り組みが喫緊の課題である。

九州1,464億円（2022年）
前年比 21%増

九州の農林水産物・食品の輸出額



2030年 5兆円
2025年 2兆円

農産物・食品の輸出割合 (億ドル)

国	生産額	輸出額	輸出割合
アメリカ	12,335	1,442	12%
フランス	2,591	730	28%
イタリア	2,302	485	21%
イギリス	1,548	286	18%
オランダ	1,066	1,018	95%
日本	4,725	84	2%

出所:食料・農業・農村政策審議会
第2回基本法検証部会 農林水産省資料

◆-2. 輸出の強化（九州の取組）

2022.6宮崎
戦略会議

「フードアイランド九州」推進宣言

- ・多様な担い手の確保・育成
- ・スマート農林水産業の推進
- ・九州の強みを活かした輸出拡大

・輸出相手国のニーズや規制に対応したマーケットインの産地づくり

推進中

- ・輸出先国の規制・ニーズ対応の国際GAP認証取得等支援、加工の施設増設・処理機器拡充（鹿児島県、養殖ブリ・牛肉）
- ・強みのある品目に絞ったマーケットインの商品開発、ブランディング、産地づくり（山口県、鹿児島県）

・オール九州の産地間連携による輸出量の確保

推進中

- ・同一品目の複数の産地リレーによる販売期間の長期化（いちご、かんしょ）
- ・地域商社や経済団体が持つネットワークを活用し、九州・山口県産品を包括的に輸出する体制づくり（福岡県）

・九州のブランド力とプレゼンス向上による海外需要の拡大

推進中

- ・地域商社や現地輸入業者と連携した販売促進フェア等の開催（福岡県）
- ・動画制作、SNS等による海外への情報発信（鹿児島県）、九州ロゴマークを活用したブランドづくり（福岡県）



経済界
の取組

① 国への要望

輸出先の各国・地域の手続き簡素化、規制緩和へ働きかけ
（放射能検査等の規制緩和、検査・通関遅延リスク削減、品目拡大、指定精米工場追加）

② 海外販路開拓

「九州の食輸出協議会」（地域商社5社）にて、今年度九州フェアを予定
▶ 大潤発（台湾）、イオン（マレーシア・カンボジア）、PPIH（米国）、香港・デイトン・ファーム店舗にて

経済界
意見
(案)

輸出拡大への取組強化による、生産増大

- 官民挙げての「九州フェア」等、規模の利益を生かした機会創出、進出できていない国、現地資本スーパーなどへの販路開拓により、海外での認知度向上、ブランド化を図る。



まとめ

◆ 九州における農産物輸出を含めた食料安全保障の確立

戦略会議

- ・各県の実組状況や課題等を共有（30分）
- ・意見交換（15分）… オール九州での効果的な実組の実行へ

経済界意見(案)

- ✓ 競争力を持った「魅力ある農業」への転換
- ✓ 輸出拡大への実組強化による、生産増大

- 収益向上（国要望：九州に合った品種等の技術支援強化）
- 効率的な生産（中山間地に適したスマート農業技術投入）
- 担い手づくり（地域全体で支える農的関係人口増大への仕掛け）
- 輸出強化（官民挙げての「九州フェア」等）

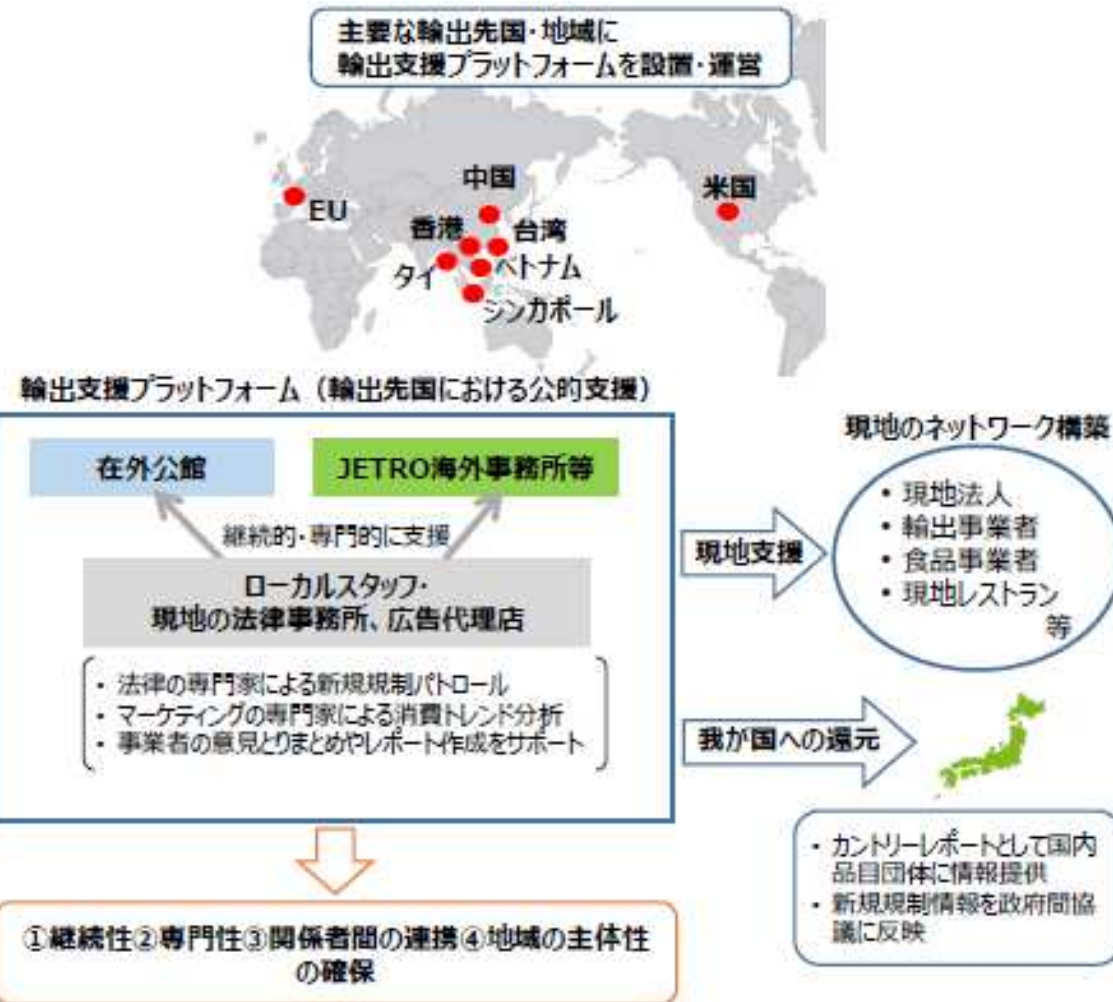
規模の利益を生かした機会創出、進出できていない国、アジア各国地域の現地資本スーパーなどへの販路開拓

（参考） 国の輸出拡大実行戦略（輸出支援PF x 都道府県版GFP）

GFP = Global Farmers/Fishermen/Foresters/Food Manufacturer Project

輸出支援プラットフォームの体制強化

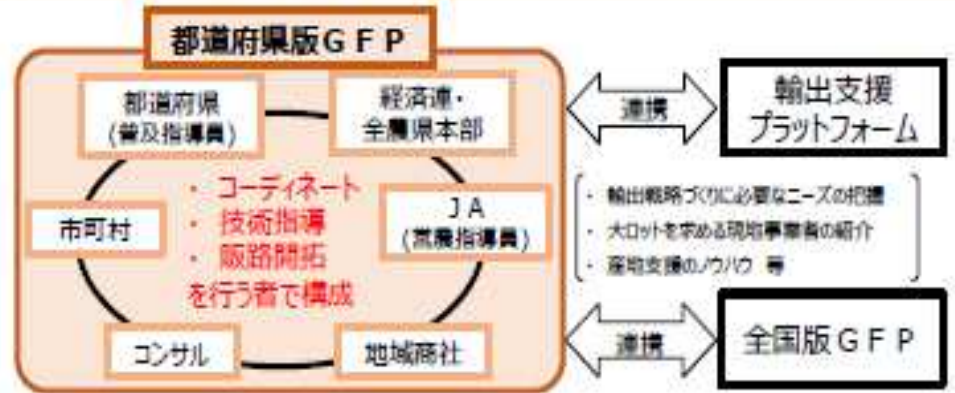
現地で海外需要の把握、商流構築などを行い、都道府県の海外プロモーションのより効果的な実施を図る



GFPグローバル産地づくり強化

都道府県版GFP（一気通貫で産地をサポート）を整備し、大口輸出産地のモデル形成を支援

都道府県版GFPの組織化による地域密着型の輸出推進体制の構築



大口輸出に向けた生産方法の転換

- 大規模な有機農業への転換、使用農薬の見直し
- 耕作放棄地を活用した輸出向け生産の拡大
- ロス率低下やコスト低減のための新品種・新技術の導入

集荷、船積み方法の転換

- 鮮度保持のためのコールドチェーンを確保した、産地直送型集荷方法の確立
- 輸送コスト軽減や大口輸出のための混載を前提とした集荷から船積みまでの流通体系の構築等



（参考） 国の輸出拡大実行戦略（グローバル産地づくり）

GFPグローバル産地づくり推進事業採択産地（九州）

GFP = Global Farmers/Fishermen/Foresters/Food Manufacturer Projectの略称

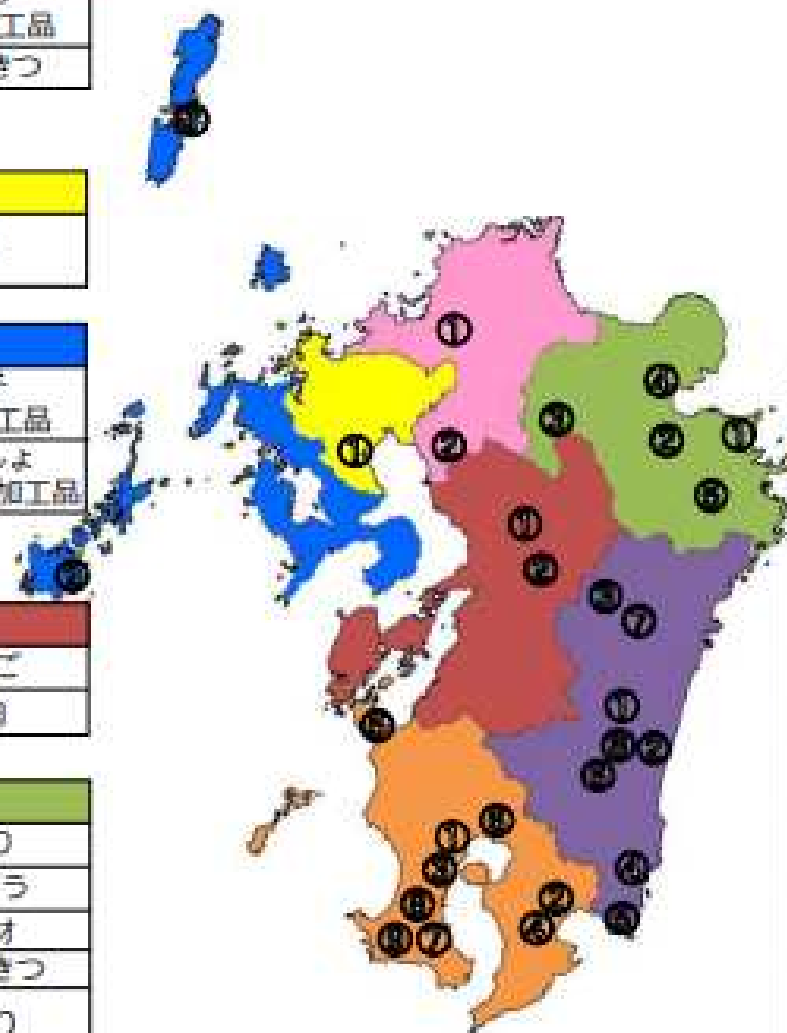
福岡県(2件)			
①	令和2年度	九州農産物通商株式会社	かき かき加工品
②	令和3年度	九州農産物通商株式会社	かんきつ

佐賀県(1件)			
①	令和2年度	うれしの茶 グローバル産地協議会	茶

長崎県(2件)			
①	令和2年度	対馬水産株式会社	穴子 穴子加工品
②	令和2年度	㈱アグリ・ コーポレーション	かんしょ かんしょ加工品

熊本県(2件)			
①	令和2年度	㈱イチゴラス	いちご
②	令和4年度	㈱杉本本店	牛肉

大分県(5件)			
①	令和3年度	大分県漁業協同組合	ぶり
②	令和3年度	大分県農業協同組合	ぶどう
③	令和3年度	日田木材協同組合	製材
④	令和4年度	大分県農業協同組合	かんきつ
⑤	令和4年度	㈱マルハニチロAQUA アクア事業所	ぶり



宮崎県(6件)			
①	令和2年度	㈱かくらの里	かんきつ
②	令和2年度	ジャパンキャビア株式会社	キャビア
③	令和2年度	㈱高千穂ムラたび	甘酒、米菓子
④	令和3年度	㈱ネイバーフッド	かんきつ
⑤	令和3年度	黒瀬水産株式会社	ぶり
⑥	令和4年度	南九州輸出茶 コンソーシアム	茶
⑦	令和4年度	㈱杉本商店	乾しいたけ
⑧	令和4年度	㈱MOMIKI	ソース混合調味料

鹿児島県(9件)			
①	令和2年度	鹿児島県経済農業 協同組合連合会	かんしょ かんしょ加工品
②	令和2年度	鹿児島堀口製茶株式会社	茶
③	令和3年度	㈱かごしま有機 生産組合	かんしょ かんしょ加工品
④	令和3年度	㈱大崎農園	だいこん
⑤	令和3年度	東町漁業協同組合	ぶり
⑥	令和3年度	鹿児島県漁業 協同組合連合会	ぶり
⑦	令和4年度	㈱指宿やさいの王国	かんしょ、キャ ベツ、レタス
⑧	令和4年度	㈱大吉農園	キャベツ かぼちゃ
⑨	令和4年度	枕崎水産加工業 協同組合	かつお

参考) 九州における半導体産業振興へ取組み状況

- 【経済産業省】**
「半導体・デジタル産業戦略」
 (1) 半導体分野
 (2) 情報処理分野
 (3) 高度情報通信インフラ分野
 (4) 蓄電池分野

SIIQ(九州半導体・デジタルイノベーション協議会)
 九州地域における半導体・エレクトロニクス産業振興

①オープンイノベーション・モノづくり深化事業

マッチング, 海外展開, 広報出展, 会員交流

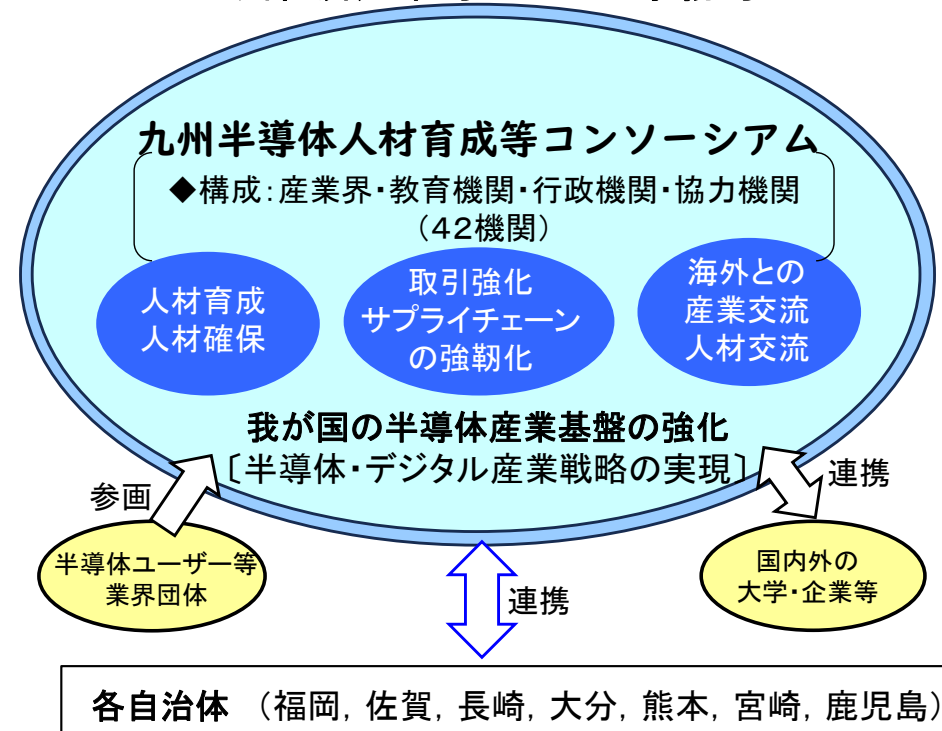
②人材育成関連事業

教員向け研修, 学への出前講座

③コトづくり関連事業

セミナー, 研究奨励

九州経済産業局・SIIQ が事務局



九州地域戦略会議の取組み (案)

- ・ 県境を越えた産学官一体の要望 (水、土地、交通インフラ等)
- ・ 海外・国内企業、データセンター等の誘致
- ・ デジタル社会への強力な推進 (スマートシティ、MaaS、データ基盤の整備等)